

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【公開番号】特開2004-7630(P2004-7630A)

【公開日】平成16年1月8日(2004.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2004-001

【出願番号】特願2003-124677(P2003-124677)

【国際特許分類】

H 04 N 5/228 (2006.01)

H 04 N 5/232 (2006.01)

H 04 N 5/262 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/228 Z

H 04 N 5/232 Z

H 04 N 5/262

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月28日(2006.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の倍率にある第1の画像と、第2の倍率にあるその後の画像と、前記第1の倍率と前記第2の倍率との間の倍率にある少なくとも1つの中間画像とを含むズームされた画像のシーケンスを処理する方法であって、

前記中間画像のそれぞれの少なくともある領域を、前記第1および第2の倍率のうちの高い方の倍率と同じ倍率のレベルまで拡大するように、前記中間画像のそれぞれに電子ズームを適用するステップを含む方法。

【請求項2】

前記第1の画像と、前記電子的にズームされた画像と、前記後の画像とを含む出力画像シーケンスを生成するステップをさらに含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の画像と前記中間画像と前記後の画像とに現れる画像シーケンスの被写体を求めるステップをさらに含み、

前記電子的にズームされた画像は、前記被写体の少なくとも一部を含むようになされている、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

前記ズームされた中間画像の少なくともいずれかと、最終画像および前記第1の画像の少なくともいずれかとの間にソフトカット画像間遷移を適用するステップをさらに含む請求項1～3のいずれかに記載の方法。

【請求項5】

前記請求項1～4のいずれかに記載の方法を実行するコンピュータプログラム。

【請求項6】

前記第1の画像と前記中間画像と前記後の画像とに前記画像シーケンスの被写体が表れるかどうかを自動的に判定するようにされている請求項5に記載のプログラム。

【請求項7】

請求項 5 または 6 に記載のコンピュータプログラムを含むコンピュータ読み取り可能記録媒体。

【請求項 8】

第 1 の倍率にある第 1 の画像と、第 2 の倍率にあるその後の画像と、前記第 1 の倍率と前記第 2 の倍率との間の倍率にある少なくとも 1 つの中間画像とを含むズームされた画像のシーケンスを処理するようになされている装置であって、

前記中間画像のそれぞれに電子ズームを適用して、それによって前記中間画像のそれぞれの少なくともある領域を、前記第 1 および第 2 の倍率のうちの高い方の倍率と同じ倍率のレベルまで拡大する処理手段を有する装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の装置を有するカメラ。

【請求項 10】

前記装置が自動的に動作するかどうかをユーザが選択するようになされているユーザインターフェースをさらに有する請求項 9 に記載のカメラ。